

東由利町報

7/1

No. 328 昭和57年7月1日発行 毎月1日発行

昭和57年

No. 3 2 8



頂上の八塩神社を参拝

緑豊かなふる里バンザイ

八塩登山 34人がとんびを眼下に

デスカバー東由利―町公民館主催の町民登山の会が六月六日、今年も八塩山で行われました。

空は青く晴れわたり、絶好の登山日和となったこの日、集合地点の八塩ダム入口には、五歳から六十九歳までの老若男女合わせ、これまで最高の三十四人が参集。この中には、新聞で知り参加したという本荘市の女性二人も。濃い青緑色の水面のダムをあとにし、不動滝の急な尾根伝いに登って約二時間半。全員が元気に頂上の八塩神社到着。参拝をすませた一行は、早速、遠く湯沢や横手、大曲までも眺望のきく神社前広場に車座になり、弁当をひろげ、自然の味をかみしめていました。

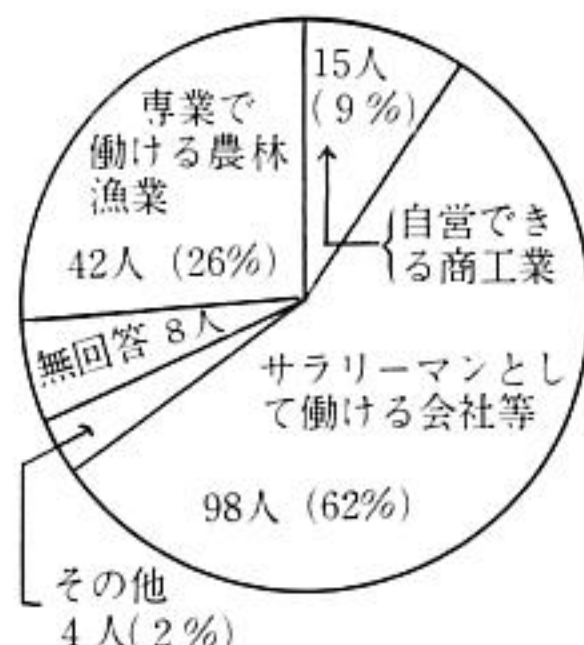
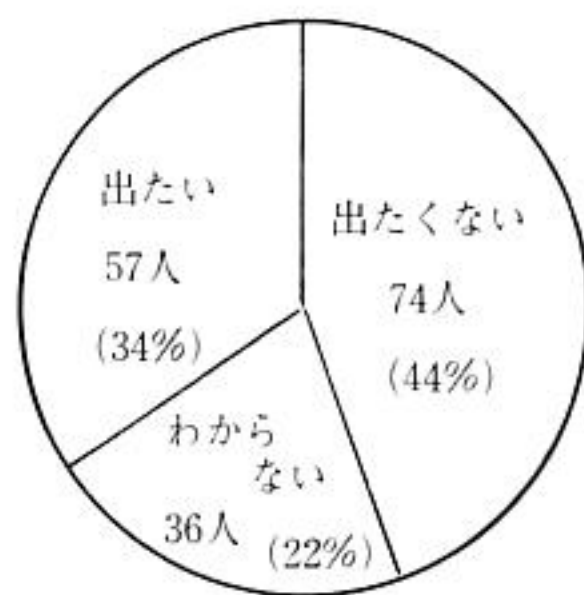
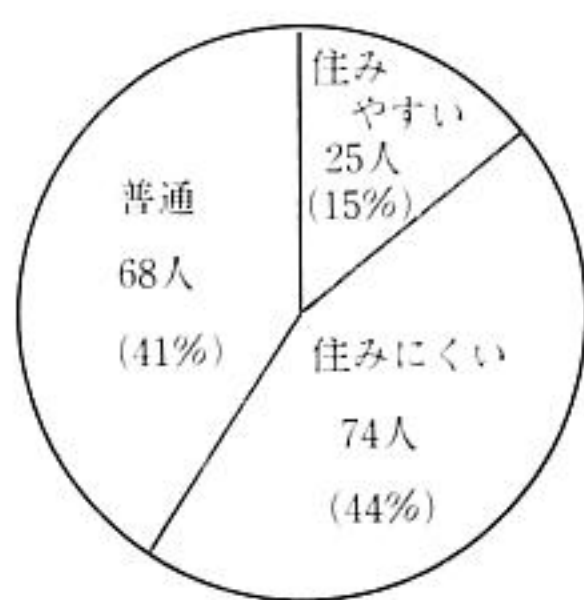
胃袋を満たした後は、広場周囲でタケノコ採り。帰りのザックの中は、おにぎりや代わって、タケノコ、ミズ、ワラビなどの山菜でいっぱいの人々も。

“ピーヒョロ”とんびを眼下に、すがすがしい初夏の風を全身で受けた一行にとって、電話のベルも車のエンジン音も聞こえない緑の自然の中での一日は、まさに“ふるさと再発見”ふるさとバンザイの意義ある一日となったようでした。

町の生活目標

1. 町の心は明るいあいさつ
2. きれいな町で健康な暮らし
3. ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
4. 学び・働き・助けあう・ゆたかな心

青年 (回答者 167人)



44%の青年

町から出たくない

回答をいただいたのは、一般百七十三人(回答率九五・三%)、青年百六十七人(回答率九二・三%)でした。

村にーと町では、昭和五十九年から第二期山村振興対策事業を実施することにしました。これは▽活力ある人づくり▽個性ある村づくり▽魅力ある環境づくりーをねらいに、産業、生活、文化、交通、福祉、観光など、定住条件の総合的整備を図ろうというものです。現在、事業実施の基本となる「第三期山村振興計画」を策定するため、調査、検討を重ねています。計画策定にあたり、振興対策の参考にするため、五月下旬から六月上旬にかけ、一般・青年それぞれ百八十一人にアンケートを実施し、生活の実情や将来の希望などをさぐってみました。その結果概要を見ながら皆さんといっしょに考えてみたいと思います。

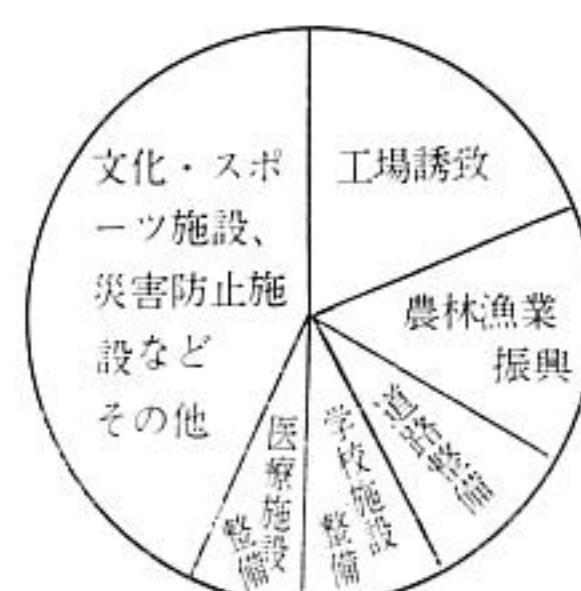
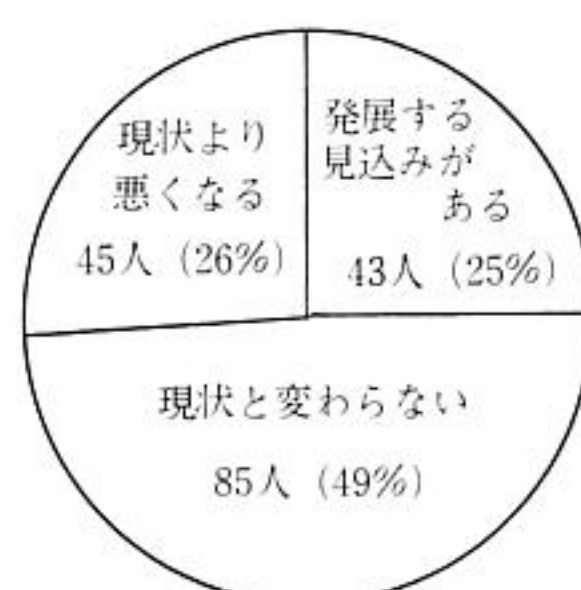
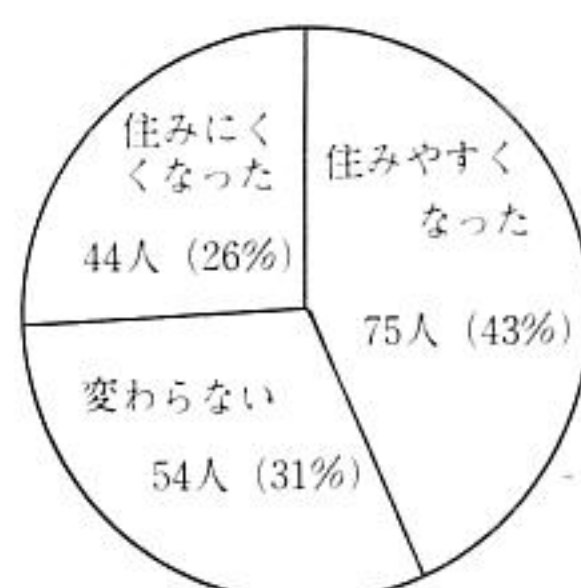
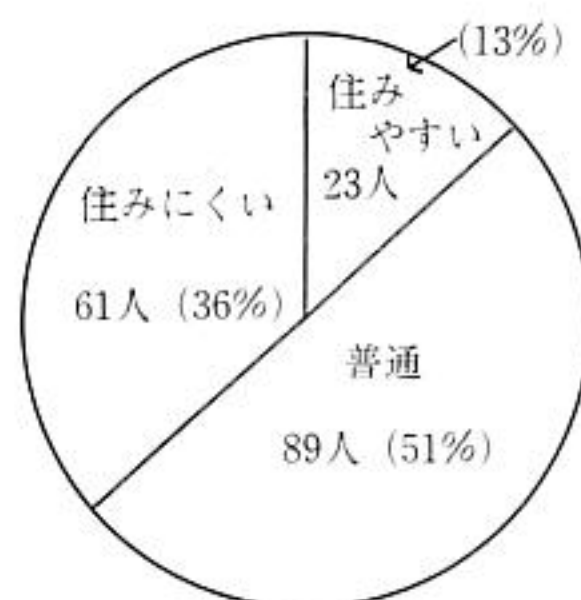
山振住民意向調査から

若者も喜んで定住する農



この子らも将来、喜んで定住する魅力ある町づくりを

一般 (回答者 173人)



五年前に比べ住みやすくなった

43%

実施してきました明るく住みよい町づくりのための事業が、着実に成果をあげているものと考えられます。

反面、一般の三六%、青年の四四%は「住みにくい」と答え、理由として

・就労の場の不足
・道路の未整備
・スポーツ、娯楽施設が不足

また、一般の四三%は「五年前に比べて住みやすくなった」と答え(図2)、青年の四四%は「町から出たくない」と答えています(図6)

このことは、これまで町がなをあげています。そして、これがまた、青年の「事情が許せば町から出たい」の理由と一致していることを見逃すことはできません。

企業誘致・道路整備を望む

「山村振興対策としてなにを望むか」どんな仕事があれば

一方、「悪くなる」と答えたかたの理由としては「人口が減っているから」が最も多く、以下、「財政力が弱い」「都市から遠く、交通条件が悪い」の順となっています。

「見込みがある」と答えたかたは、理由として

- ・農林業施設や生活環境が相当整備されている。
- ・開発できる土地が多い。
- ・住民の意欲が高い。
- ・森林、水、観光資源等に恵まれている。

「本町の将来についてどう思うか」との問いに、「現状と変わらない」と答えたかたが約半数、「発展する見込みがある」が約四分の一、「現状より悪くなる」が約四分の一となっている(図3)。

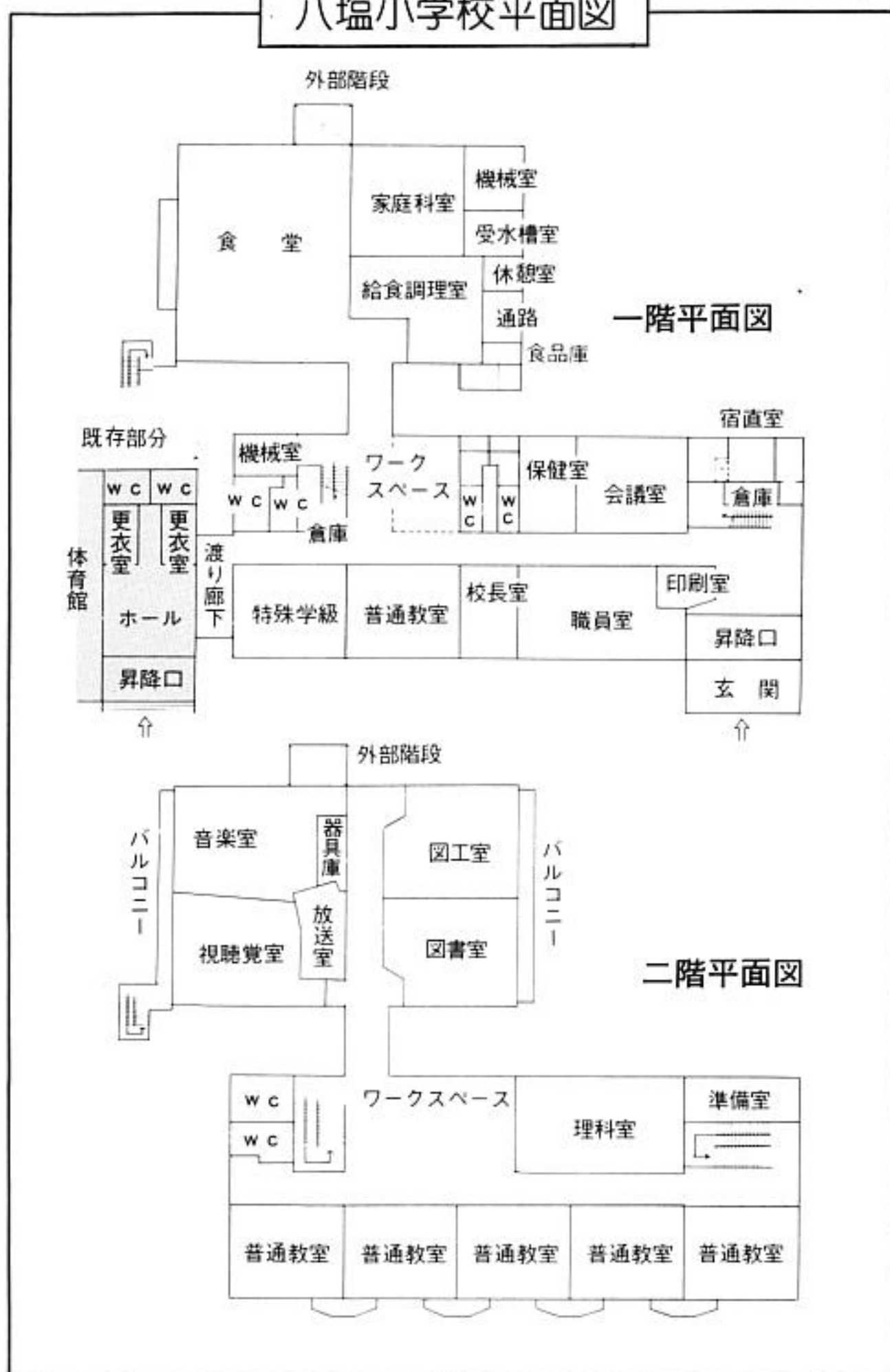
「工場誘致」「給与収入の場」が最も多く、「道路の整備」「農林業の振興」と続いています(図4・7・8)。

これは、基幹産業である第一次産業の振興を望みながら、余剰労力を吸収できる企業の誘致、現金収入の場を求めているという、いわば、過疎に悩む農山村の抱える問題、課題が浮きぼりにされた形といえます。

こうしたなかで、減反政策や米価据え置き、材価の低迷、農畜産物の輸入化など、農林業を取り巻く情勢は厳しいなかにあっても、規模拡大、専業化を望んでいる点が注目されます。

町では、この後、調査結果を年代別、性別など、さらに詳しく分析するとともに、各団体、機関の意見を集約し、だれもが喜んで定住する町づくりに努めたいと考えています。

八塩小学校平面図



八塩小

年内の完成めざす

安全祈り地鎮祭

旧住吉小を臨時校舎にしている八塩小学校の新校舎建築工事は、地鎮祭が六月八日、旧玉米小跡地の建築現場で行われました。

地鎮祭には、町、議会、教委、

工事の安全を祈り、クワ入れる町長

同校、PTA、地域代表、施工業者ら五十人余りが出席。町長と業者代表がクワ入れをし、関係者が玉ぐしをささげて工事の安全を祈りました。神事の後、みどり保育園二階で直会（なおりい）が行われ、席上、町長は「皆さんのご協力のおかげでここまでできた。いろいろな問題はあるがお互いに協力し合い、町内の学校教育が一日も早く健やかな体制になるようにしたい。八塩小の児童はできることから二学期中に新校舎に入れて

あげたい」とあいさつしました。

本町でアカバネ病発生

積極的に予防注射を

乳・肉牛に異常産を起こさせるアカバネ病が、先ごろ、本町で確認されました。

これは、五月下旬に生まれた、外形は異常ないが、立つこともできないなど、運動機能のマヒした子牛を、母牛の血液とともに県中央家畜保健衛生所に送り、解剖と血液検査

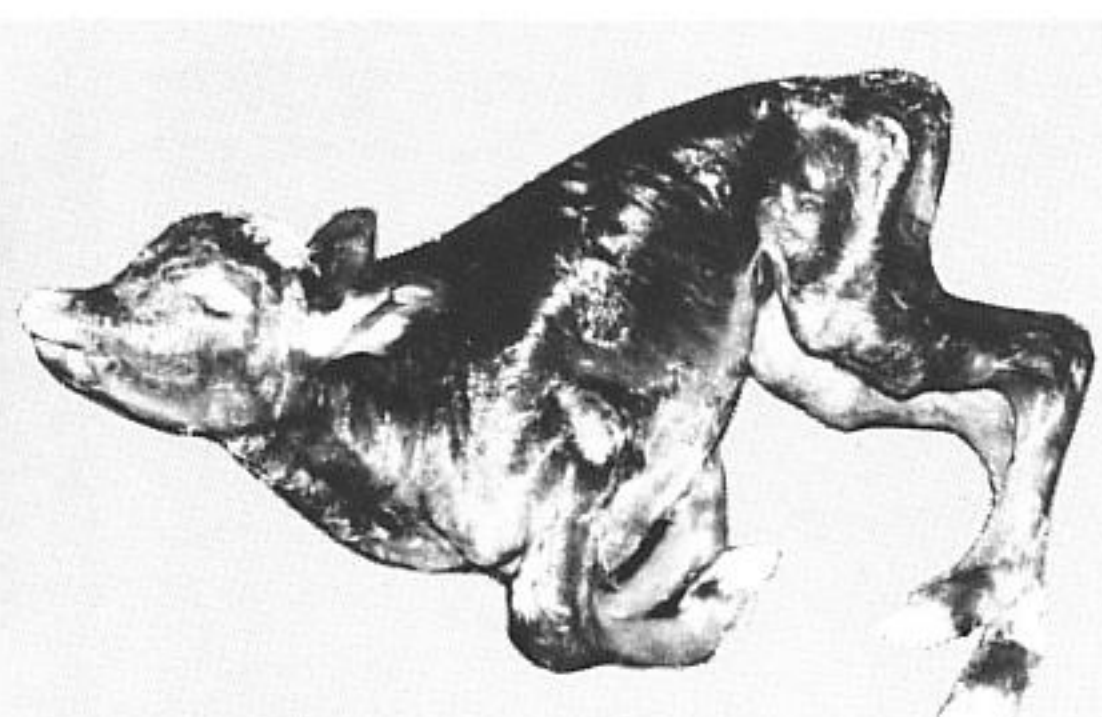
をしてもらった結果、わかったものです。

アカバネ病は、流行性の病気で、アカバネウイルスをもった蚊やアカバネなどの吸血昆虫により、一度に多くの牛に感染します。そして、妊娠牛の場合は、早流死産や奇形牛などの異常出産、難産を起こします。

本病を防ぐには、蚊やアカバネの発生時期に、殺虫剤などを散布して昆虫の発生を防止するとともに、予防注射をして免疫体をつけておくことが最善の方法とされています。

このため、町では、毎年五月中旬から下旬にかけ、乳・肉牛の繁殖牛を対象に予防注射を実施し、例年、肉牛の約九〇%、乳牛の約

新校舎は、鉄筋コンクリート二階建て延べ二千四百四十平方メートル。総工事費は三億六千七百九十二万円で、工期は十二月二十日までとなっています。



アカバネ病による褐毛和種の奇形産牛（写真提供：県中央家畜保健衛生所）

夏休み…子供の交通事故をなくそう



夏休みに入ると、子供たちは、解放感などから、せっかく身についた正しい交通ルールや安全な動作を忘れがちになります。家族みんなで、交通安全について話し合ひましょう。

一〇%がこれを受けています。注射による免疫体の有効期間は約六カ月。

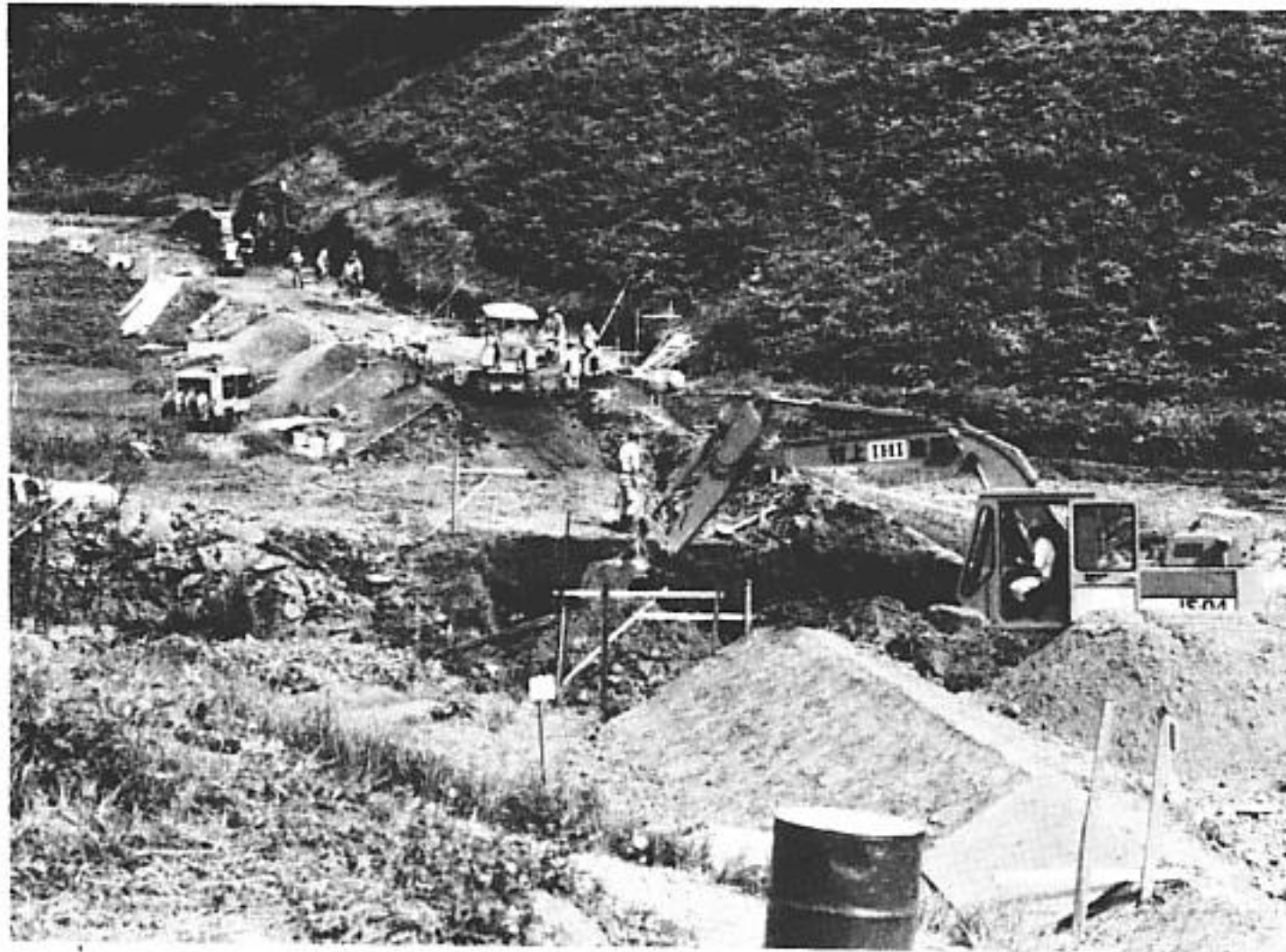
アカバネ病の流行は、五、六年度の周期があるといわれていますが、ここ数年、全国的に散発的発生をみており、その周期が短縮されている傾向にあります。しかも、感染経路については、まだはっきりとわかっていません。

したがって、前年に流行がなかったから今年も大丈夫と考えるのは危険です。

特に繁殖農家にとって、この厳しい農業情勢の中で一産を失うことは、経営上大きなマイナスです。損失を食い止め、自らの財産を守るために、積極的に予防注射を受けることが望まれます。

6月末現在
町営事業

発注額6億3,267万円



改良工事の直道線

農協玉米支所購買の横か

◎ 向山(むかいやま)線

▽施工業者 柳沢建設

▽工事期限 57年11月30日

▽契約金額 三、一六〇万円

▽施工業者 佐藤組

▽工事期限 57年9月30日

▽契約金額 九三五万円

▽施工業者 佐藤組

▽工事期限 57年11月30日

▽契約金額 一、八〇〇万円

▽施工業者 佐藤組

▽工事期限 57年11月30日

▽契約金額 二、〇六五万円

▽施工業者 佐々木組

▽工事期限 57年10月30日

▽契約金額 二、〇三〇万円

▽施工業者 興北協和

▽工事期限 57年11月30日

▽契約金額 二、七八万円

▽施工業者 興北協和

▽工事期限 57年11月30日

▽契約金額 二、七八万円

▽施工業者 興北協和

▽工事期限 57年11月30日

▽契約金額 二、七八万円

▽施工業者 興北協和

▽工事期限 57年11月30日

▽契約金額 二、七八万円

▽施工業者 興北協和

▽工事期限 57年11月30日

▽契約金額 二、七八万円

▽施工業者 興北協和

▽工事期限 57年11月30日

▽契約金額 二、七八万円

▽施工業者 興北協和

▽工事期限 57年11月30日

▽契約金額 二、七八万円

道路改良

◎ ボツメキ線

泡の淵地内から八塩山腹
のびる延長三、一九六メートル
の路線で、昨年までに二、
四〇七メートルを開設。今年、
山腹のボツメキ地内から智
者鶴の周治谷地に向かって
五〇〇メートルを開設します。幅
員は四メートル。

◎ 石滝(いしだき)線

上里集落内の山沿いを走る
道路で、三二八メートルを全幅五
メートルに改良します。

▽契約金額 九三五万円

▽施工業者 佐藤組

▽工事期限 57年9月30日

◎ 直道(すぐみち)線

桂台集落から法内川を渡り
代三郎地内に至る道路で、一
二・五メートルの橋をかけ、三〇七
メートルを全幅四メートルに改良します。復旧工事が行われるメタ
ダレ線の災害現場

〈道路維持・修繕工事発注状況〉

路線名	施行位置	工種	契約金額	施工業者	工事期間
沢中線	沢中	緑化工 A=4,081㎡ L=920m	千円 2,600	イビデン工業(株)	6月22日 ～ 9月20日
坪倉線	館合新田	緑化工 A=463㎡ L=60m	670	グリーン資材(株)	"
松台線	松台	緑化工 A=1,600㎡ L=165m	400	"	"
明通線	明通	緑化工 A=306㎡ L=58m	530	"	"
石高線	泡ノ淵	緑化工 A=642㎡ L=55m	580	緑建工業(株)	"
宿線	宿	ガードレール L=77m 舗装 L=66m W=4.0m	1,400	(株)大沼組	6月1日 ～ 7月30日
軽井沢線	畠山ノ下	法留工	550	"	"
大落線	大落	法留工	248	佐々木組	"

◎ 宮の下線

大琴小学校グラウンド下か
ら農免農道根小屋線に向かい、
四四〇メートルを全幅四メートルに改良
します。

▽契約金額 二、〇六五万円

▽施工業者 佐々木組

▽工事期限 57年10月30日

◎ 大台線

大谷地から大台、大落を通
って農免農道根小屋線に接す
る延長二、九〇〇メートルの路線で、
今年、大谷地地内三〇三メートル
を全幅五メートルに改良します。

◎ 大平支線

大平農道と土場沢林道を結
ぶ延長四〇〇メートルの路線で、全幅
四メートルに改良。工事は、六月中
に完了しています。

▽契約金額 一〇八万円

▽施工業者 柳沢建設

◎ 西の股線

本町から由利町にぬけるル
ートにあり、沼集落入口から
一七〇メートルを、全幅四メートルに改良
するもので、工事はすでに完
了しています。

▽契約金額 二七八万円

▽施工業者 興北協和



鏡をぬいて無事貫通を祝う関係者

蔵第一トンネル(仮称)貫通

蔵工区 今年度中に概成

蔵沢(わらざわ)から蔵新田の薬師山を東西に貫く国道一〇七号線蔵第一トンネル(仮称)が貫通し、六月十九日、工事関係者、町、町議会、地元住民代表者らが出席して貫通式を行い、鏡をぬいて無事貫通を祝いました。

同トンネルは、昨年

蔵沢(わらざわ)から蔵新田の薬師山を東西に貫く国道一〇七号線蔵第一トンネル(仮称)が貫通し、六月十九日、工事関係者、町、町議会、地元住民代表者らが出席して貫通式を行い、鏡をぬいて無事貫通を祝いました。同トンネルは、昨年

健康づくりの食生活

清涼飲料水をとり過ぎないように



子供さんといっしょに、待ちに待った夏の訪れです。家族で海や山へ出掛けると、楽しい計画を立てていることと、思い込みがちな暑さのた

子供さんといっしょに、待ちに待った夏の訪れです。家族で海や山へ出掛けると、楽しい計画を立てていることと、思い込みがちな暑さのた

るため、ややもするとジュースなどの清涼飲料水を多くとりがちですが、飲みすぎると疲労や食欲不振を招きます。清涼飲料水よりは牛乳を飲んで水分を補いましょう。また、ビタミン類やタンパク質をとることも忘れてはなりません。特に肉、魚、豆腐など、タンパク質に富んだ食品は夏に衰えがちなスタミナの減退を防ぎます。夏を健康に過ごすには、三度の食事をきちんととり、規則正しい生活を送ることが大切です。また、適度な運動を心掛けるとともに、十分な睡眠をとり、健康で楽しい夏を過ごしましょう。

道路舗装

工事期限は、いずれも八月二十五日です。

◎ 葎沢線

モデル事業で改良した葎沢集落内一九一を、四幅で舗装します。

▽契約金額 二九一万円

▽施工業者 前田道路KK

◎ 地下の沢線

昨年改良した地下の沢バス停から地下の沢橋までの二〇六・二を、四・五幅で舗装します。

▽契約金額 四四五万円

▽施工業者 前田道路KK

◎ 倉茂沢線

大場台の碎石場から茂沢集落手前までの三〇〇を、四幅で舗装します。

▽契約金額 四六九万円

▽施工業者 大沼組

◎ 島田線

島集落内の二四九・三を、四幅で舗装します。

▽契約金額 四三八万円

▽施工業者 大沼組

◎ 稲子沢線

小倉集落から稲子沢間の二六六を、三幅で舗装します。

▽契約金額 四二〇万円

▽施工業者 村岡建設

◎ 大下線

畑村集落内の大下橋、杉森集落間七二五を四幅で舗装します。これにより、延長一、〇三六の同線は、全線舗装済みとなります。

▽契約金額 一、三五五万円

◎ 金山線

杉森集落内を中心に、一、一七〇を五・五幅で舗装します。

▽契約金額 二、七〇〇万円
▽施工業者 日本舗道KK



今年舗装される金山線の杉森地内

道路災害復旧

◎ 下田面(しもだめん)線

向田集落入口の路肩決壊部分一七の復旧で、工事はすでに完了しています。

▽契約金額 一〇三万円

▽施工業者 長谷山建設

◎ メタダレ線

沿線上にある二つ目の堤の手前、一七の路肩決壊部分を復旧します。

▽契約金額 一〇八万円

▽施工業者 長谷山建設

▽工事期限 57年8月25日

◎ 根小屋線

大琴・ザラメキ地内の路肩

決壊部分二〇の復旧で、工事はすでに完了しています。

▽契約金額 一九一万円

▽施工業者 広川工務店

◎ 大谷地線

大谷地内の路肩決壊部分一五の復旧で、工事はすでに完了しています。

▽契約金額 六一二万円

▽施工業者 大沼組

◎ 金山線

沼地内の路肩決壊部分二〇の復旧します。

▽契約金額 六〇万円

▽施工業者 佐々木組

▽工事期限 57年8月25日

金婚カップルに祝状

鈴木五郎左衛門	高橋金治郎	大日向国太郎	千葉徳左エ門	木島 節造	小野 貞賢	小野与四松	佐藤 巖	小松 寅次	畑山文一郎
ナツヨ	ソノ	ハツエ	ナオミ	シゲヨ	ヨシエ	アサエ	ナツヨ	トキエ	ミツヨ
68歳	69歳	70歳	69歳	66歳	69歳	83歳	70歳	72歳	68歳
沼	十二ノ前	宮ノ前	島	蔵新田	蔵	上里	寺田	湯出野	館合新田

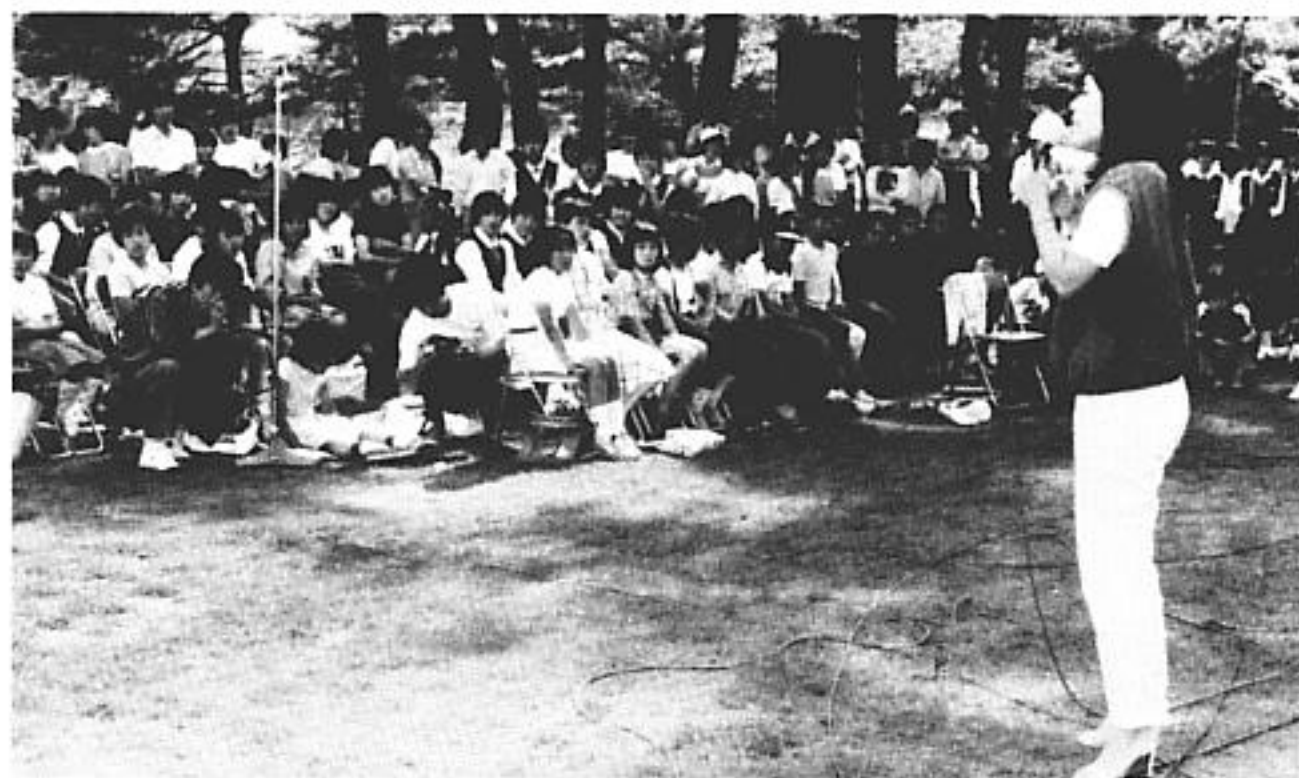
価値ある笑顔……いつまでも長生きして

昭和57年 9 月15日現在の満年齢

NHK東由利FM局開局

周波数は 85.3 MHz

台山で記念公開録音



開局記念公開録音に聴衆250人(右・歌手の渡辺真知子さん)

FM放送がよく聞こえるようになりまして——このほど、上里・大平山のテレビ塔に併せて、周波数八五・三MHz

小松さんと杉森総代区婦人部

専売 東北支社長から表彰状

日本専売公社東北支社のため、この耕作表彰式が五月十九日、男鹿市の男鹿ホテルで行われ、(秋田県関係)、本町石高の小松幸男さんと杉森総代区婦人部に、東北支社長から表彰状並びに記念品が贈られました。

小松さんは、現在五十一歳の葉たばこ畑を耕作し、公社の生産方針にそって品質改善を図り、高品位の葉たばこ出荷に努めていることが認められたものです。



また、杉森総代区では、八戸、合わせて二百二十三アを耕作。耕作の中心はお母さん方で、お互いに情報交換に努めながら、一致協力して良質葉たばこの生産に取り組んでいることが高く評価されたものです。



表彰状を手に喜びの小松さん(上)と杉森総代区婦人部の皆さん(下)

7/1~7/31

防ごう非行
助けよう立ち直り

社会を明るくする運動

防ごう非行、助けよう立ち直り——七月は「社会を明るくする運動」強調月間です。

(メガヘルツ)のNHK東由利FM局が完成し、六月二十九日から本放送が開始されています。

これは、町と議会が、出羽丘陵の山々に囲まれ、FM放送受信の困難な本町に、中継局の設置を関係各方面に働きかけてきた結果、難聴地域解消のため、日本放送協会が今年全国五ヶ所に設置する中継局の一つとして実現をみたものです。

同局の完成で、本町の約九割の世帯が、雑音の少ない、きれいに聞こえるFM放送を楽しめることになりました。

皆さんも、是非一度、ダイヤルをFM八五・三に合わせ、耳を傾けてはいかがでしょうか。

また、六月十三日には、同局の完成を記念して、「飛び出そう、初夏の緑に」と題し、NHK・FMリクエストアワ

の公開録音が、約三時間にわたって明楽荘横の特設野外会場で行われました。

この日は、NHK紅白歌合戦にも出場している歌手の渡辺真知子さん、本町上里の小野克弘さん、羽後町のフォーググループ・かど石、デスクジョッキーの奥田ヒロミさんらがゲスト出演。

本町では初めての公開録音、しかも、紅白出場歌手や地元

の小野さんらの出演とあって、会場には、中学・高校生を中心に町内外から約二百五十人が参集。初夏の陽差しを浴び、老松と芝生の緑豊かな台山で、歌やイントロクイズなどで楽しい半日を過ごしました。

この模様は、同月十九日(土)の午後三時五十分から六時まで放送され、美しい自然の東由利の名が、電波によって県内各地に広まりました。

今や少年非行は戦後第三のピークを迎え、しかもこれまで経験したことのない深刻な事態に直面しています。

昨年一年間に暴行や詐欺、窃盗、薬物乱用などで本庄警察署に補導された十九歳以下の少年は、九百四十四人を数え、五十五年比で百五十人増えています。

また、最近の少年非行の特徴として、低年齢層の少年による非行や、ごく普通の家庭の少年にまで非行が広がっていることも見過ごせません。これらに共通しているのは、いわゆる、せっぱ詰まった犯罪ではなく、ほんの思いつきや「遊び型」とも言える少年非行が増えていることです。

次代を担う少年たちを非行から守り、更生の手助けをす

ることは、家庭・学校・職場はもとより、地域住民一人一人が協力し取り組まなければならぬ大切な問題です。こうしたことから、今年の運動の重点目標は「地域活動の推進による少年の非行防止と更生の援助」に置かれました。

わたしたちみんなで力を合わせ、犯罪のない明るい社会をつくりましょう。

注意！非行に走りやすい夏休み

少年たちにとって、非行に走りやすい夏休み。家庭では、次のような点に十分気をつけましょう。

- ①勉強や遊びなどの日程表を子供たちに作らせ、けじめのある生活をさせましょう。
- ②子供が外出するときは必ず行き先を確かめ、夜遊びはさせないようにしましょう。
- ③家庭が楽しいところであるよう、少なくとも毎日一回は

青少年を非行から守る全国強調月間

7月1日~31日



重点項目

1. 国民の非行防止意識の高揚
2. 暴力非行その他の青少年の非行防止
3. 青少年を取り巻く社会環境の浄化

地域ぐるみで青少年を非行から守りましょう！

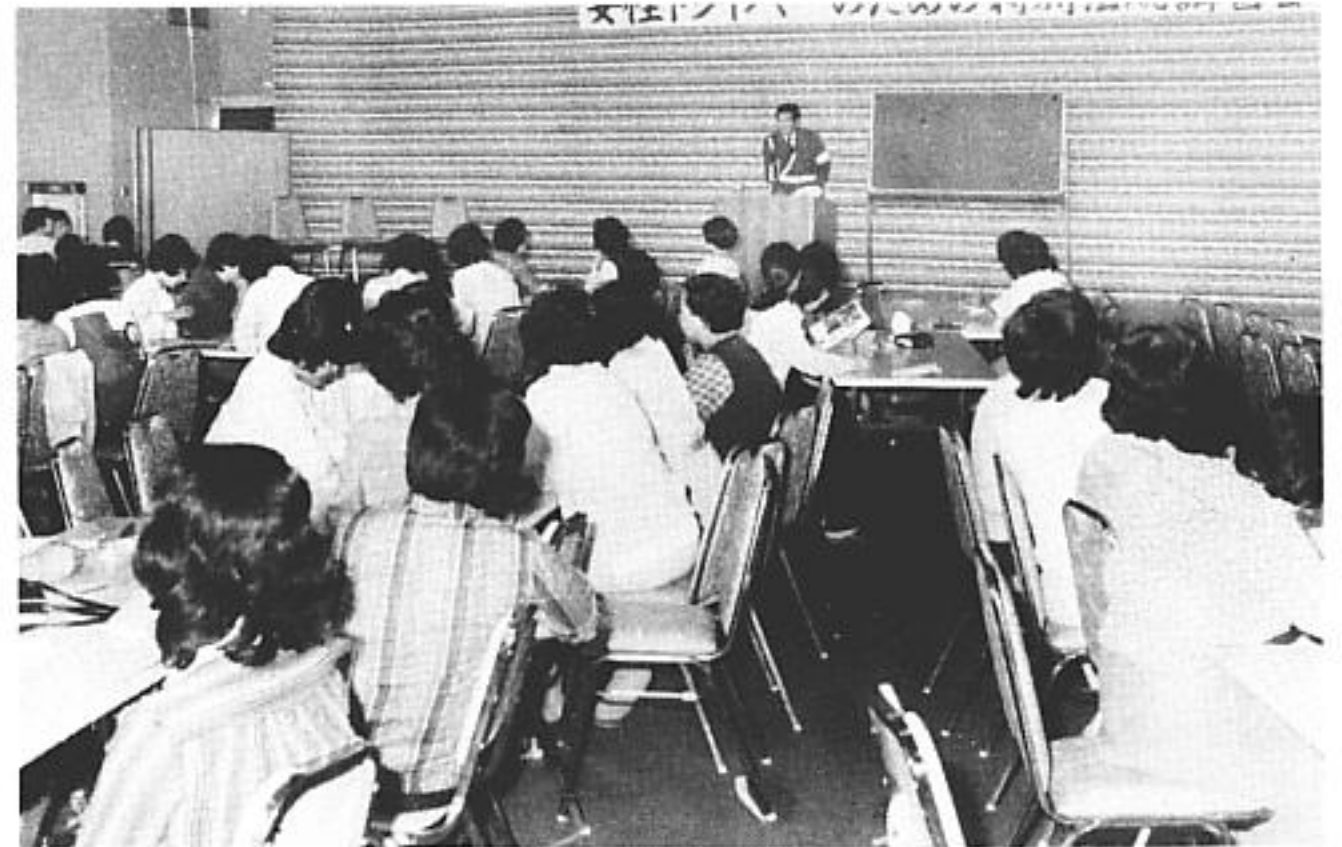
家族そろってだんらんする機会をつくるようにしましょう。

④悪に負けない勇気を伸ばし、友達から誘われても断ることができる強い意志を育てるよう、しつけ教育に重点をおきましょう。

有鄰館で法規講習会

郡市女性
ドライバー

不特定の女性対象は県内初



交通ルールを再確認し、事故防止を誓い合った講習会

郡市内の女性ドライバーを対象とした特別法規講習会が六月六日、有鄰館で開かれまし

た。これは、県内の女性ドライバーは急増傾向にあり、それとともに事故も増えていることから、交通ルールの再確認による事故防止と運転技術の向上を目的に本荘由利交通安全全母の会連絡協議会と町交通安全協会が共催したもので、不特定の女性を対象とした講習会としては県内で初めてです。

会場には、二、三十代を中心に百人余りが参加。初めに交通安全マスコット作りを行った後、法規講習に移り、本

荘署・石戸交通課長から県内の交通網や事故発生状況が説明されました。

道交法の説明の中では、信号機の黄色は「注意」と思い込んでいた人が約三分の一もいたこともあって、なぜ「止まれ」になるかや、一時停止の正しい考え方、シートベルトの着用など細かな説明も行われました。

講習会を終えた参加者たちは「家に帰って家族といっしょにもう一度交通安全について話し合い、安全運転を心掛け、事故のない家庭、地域づくりに努めたい」と話していました。

ふるさとに恩返し

板垣氏(島出身)が
十万円を寄贈



10万円を寄贈する板垣氏(左)

五月三十一日、島出身で弘前市に住む板垣重信氏(旧姓千葉、欽一氏弟。創作郷土料理の店・株式会社「菊富士」代表取締役)が来庁し、自分を育ててくれたふるさとに

町長日記

第二十七回の畜産共進会

(六月三十日)は、出陳頭数百二十五頭(昨年九十八頭)で盛況であった。現在、五百十二戸で牛が飼育され、農家の飼養率は五〇%で東北一位である。肉牛の頭数は二千三百十九頭、昨年より二百頭増である。この伸び率は全県一である。

減反、低米価の中で、これに代わるのは肉牛の生産以外にないという認識と意欲がこの成果になり、共進会の盛況もその反映である。

あらためて敬意を表し、ご努力に感謝したい。町でも優良牛導入、保留牛の利子補給、サイロ、産業道路、集団の育成、草地改良、防疫とお手伝いをして来ましたが、なんといつても当業者の努力と熱意の成果であります。

くらかでも恩返しを——と十万円を寄贈してくれました。

板垣氏は、昭和三十三年婚姻により東由利村農業共済組合を退職して現在地に転出。

昭和三十八年に先代から経営をまかされた後、地元産物を使い、工夫を加えて独特の味付けをした「じよっぱりそば」「津軽すきやき」「ねぶたなべ」などの創作料理を生み出し、

ります。

育種においては、現在、原種基礎認定牛が三百二十頭、原種候補牛は二十頭で、今後の東由利牛の声価の為に関心を持つべき点であろうと思います。

乳牛は、飼育者は減少しておりますが、飼養頭数は定着し、質的な向上が図られておりまして、当業者の継続的努力に敬意を表するしだいでもあります。

出羽丘陵開発事業は、本年度に本同意、実施計画を立てます。必ず成功する為に町は最善の努力を払う覚悟でありますし、参加者の皆さんには足元をみつめながら、慎重と同時に積極的な意欲と構想を持って参加をしていただきたいと思います。

それまでの大衆食堂から、弘前ではただ一つの創作郷土料理の店として、業界では一、二を争う大型店に躍進、今日に至っています。

現在、弘前料理飲食業組合理事長、同商工会議所議員、青森県料理飲食業組合連合会副会長、(有)フジ写真製版社取締役など十指に余る要職歴任。五十二歳。

東由利の地名

地名

= 25 =

⑤ザクマエ

高館山のふもと近くにあつて、田んぼの水路が山の斜面から崩れる大小の岩石で埋まって難儀した。また、この岩石をザク石というところから、その付近をザクマエと呼ぶようになったと思われる。

⑥オボケ沢

小倉から中の沢部落に通ずる道の、右側の奥にある。オボケは芋桶と書き、芋の漬んだものを入れる容器のこと。楓の木をうすく割

カタカナの地名③

つてとも言われる。

昔の人々は、自然の芋や栽培した麻から糸をとり織物をした。したがって、麻を植えていた沢、麻がよく育つ沢、芋が群生した沢などの意味がある。

余談だが、麻の種を「おた

(文・畑山昭一)

7月のこよみ

陰暦異名・文月（ふみづき）
誕生花・くちなし（清潔）
誕生石・ルビー（慈善・威厳）

曜 日	行 事
1 木	乳児健康相談（有鄰館）
2 金	
3 土	
④ 日	
5 月	ことぶき大学、健康大学（有鄰館）
6 火	人権法律相談（役場）
7 水	三歳児健康診査
8 木	
9 金	一歳六カ月児健康診査
10 土	
⑪ 日	父さんゲートボール大会
12 月	循環器二次検診（～16日）
13 火	町消防訓練大会（台山）
14 水	
15 木	
16 金	全県消防大会（本荘市）
17 土	
⑱ 日	
19 月	循環器二次検診（～20日）
20 火	町県民税（1期）督促状発送
21 水	胃検診（～24日）
22 木	
23 金	臨時議会
24 土	
②⑤ 日	ママさんソフトボール大会
26 月	胃検診（～31日） 八塩少年自然教室（～28日、6年生対象）
27 火	農業委員会
28 水	母親学級 保呂羽山少年自然の家宿泊研 修（5年生対象）
29 木	
30 金	
31 土	鳥海登山（～8月1日）
摘 要	31日 固定資産税(2期)・国保税(1期) 納期限

子供の水の事故は保護者の責任

目を光らせて安全に



ギリギリ照りつける太陽に、水が恋しい季節―例年七月から八月にかけての二カ月間は、子供の水死事

故が目だって増える時期です。子供は、水遊びが大好きです。その反面、水の怖さを知りません。そのため、親がちょっと目を離れたスキに、とにかえしのつかない事故に結びつくことが多いのです。子供の水の事故は保護者の責任―と心得て、ふだんから子供によく注意するとともに、水の事故から尊い生命を守るために、次のような点に十分気をつけましょう。▽子供たちだけで水泳や水遊びに行かないよう、ふだんから言いきかせておく。▽家の近くにため池や用水

池などがあつて、サクとかフタがない場合は、所有者に申し入れて、すぐ処置してもらう。▽危険な水辺で遊んでいる子供を見かけたら声をかけ、安全な場所まで遊ばせるようにする。▽雨降りのあとなど川や用水が増水しているときは、子供を近づけないよう特に注意する。▽自宅周辺百メートル以内の所（幼児の活動範囲）に、危険な所がないか調べておく。▽海水浴などに行ったときは、子供が迷い子にならないよう気をつける。水の事故に結びつくことが多い。

正しく使って

楽しい花火

花火は、大人にも子供にも

幅広く親しまれ、夏の夜ならではの風物詩として、家庭の庭さきで手軽に楽しめる遊びです。しかし、安易な取扱い方をすると火災ややけどの原因となることもよくあります。安全に楽しく花火遊びをするために、次の点に十分注意しましょう。一、花火に書いてある遊び方をよく読み、必ず守る。二、花火を人や家に向けたり、燃えやすいもののある場所では遊んではいけない。三、風の強いときは、花火遊びはしない。四、水を用意する。五、大人といっしょに遊ぶ。六、たくさんの花火に、一度に火をつけない。七、正しい位置に点火する。八、吹出し、打ち上げなどの筒もの花火は、途中で火が

善 意

消えても筒をのぞかない。九、花火をポケットに入れない。十、花火をほぐして遊ばない。

慶弔だより

5月21日～6月20日届出分

〇うぶ声

○千葉五郎さん（黒沢） 蔵
小へ外ボウキ30本
○畑山マサエさん（島） 蔵
小へ雑巾100枚
佐藤雅隆 新町 周一 長男
梅津真平 大琴 嘉人 長男
畠山雄太 下通 正光 長男
保泉 学 大琴 正悦 長男

〇結 婚

大日向 司 宮ノ前
谷口 広美 上通
遠藤 美記雄 大琴
須田 多鶴子 本莊市
遠藤 晃 野田
後藤 由美子 平鹿町
阿部真理子 岩館 敏夫 二女
遠藤舞子 小倉 正司 二女
小野貴之 下小路 重信 長男
高橋宏明 久保 善男 長男
遠藤洋昌 桂台 賢治 長男
遠藤良恵 新町 輝男 長女

・お悔み申し上げます。

小松 岩蔵 下小路 85歳
大庭 翠 舟木 75歳
鎌田徳太郎 黒瀬 80歳
小松ミツエ 田代 84歳

統計で見るわが町 ②

総 人 口			性 比		
市町村名	順位	指 標	市町村名	順位	指 標
秋 田 市	1	284,863人	大 湯 村	1	104.7%
県 平 均		18,214	大 雄 村	9	95.2
阿 仁 町	57	6,276	東由利町	12	95.1
東由利町	58	6,022	西 木 村	12	95.1
峰 浜 村	59	5,921	県 平 均		92.4
大 湯 村	69	3,334	金 浦 町	69	87.2

昭和55年10月1日・総理府統計局「国勢調査」
(注) 県平均は、69市町村の算術平均

昭和55年10月1日・総理府統計局「国勢調査」
(注) 女性 100に対する男性の割合

